



編集・発行 邑楽町役場企画課
〒370-0692(住所記入不要)
☎0276-88-5511(代表)
☎0276-47-5007(企画課直通)
☎0276-89-0136
http://www.town.ora.gunma.jp
✉koho@swan.town.ora.gunma.jp

邑楽町携帯サイト
2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。
携帯用URL http://www.town.ora.gunma.jp/k



〈第七十七回〉

若い人たちに語り継ぎたい、
次の世代に残しておきたい。
貴重な話をお届けしますー。

あすへひとこと

いつの時代までも残したい

邑楽町の昔ばなし



春になると神明宮の脇には桜が咲き、その奥からシンボルタワーが顔を覗かせます。(写真は記録ボランティア 高根澤高明撮影)

神明宮の祭り

昭和30年から35年頃、光善寺の戸数は40戸ぐらいいで、ほとんどが農業でした。田のほとんどがドブツ田で牛馬が使えず、農作業も大変でした。

神明宮は前の由緒によると文禄3年(1594)に勧請されたといえます。神明宮は長い年月光善寺の人々の心のよりどころとして祭り続けられてきました。元旦祭、春季大祭、夏越の祭、秋の収穫祭、雨乞いの神事などが行われて来ました。

昭和30年代、神明宮の祭りも盛大となり、特に5月15日の春季大祭には、館林の分福一座を招いて近郷に劣らない祭りを行いました。

前日より地区民総出で準備にかかり、舞台を建て、花を飾り、神社の庭に筵を敷きつめ見物席を作るなどして、昼夜二度の興行を行いました。その回りに出店が二三十軒も並び、夜は提灯の明かりと出店の明かりと多くの見物客で、いつもは暗い神社の庭もこの日は賑わいました。

人の話によると二百人余の観客で神社の庭もいっぱいだったといえます。分福一座の出し物は、芝居や流行歌に合わせた舞踊などでしたが、題名を捲るたびに喚声があり、祭りの興行は大成功でした。

このような祭りの賑いや楽しさもテレビの普及と共に次第に茶の間へと移ります。2台、3台とテレビが増えたと共にプロレスの人氣が高まり、特に力道山というレスラーの活躍や東京オリンピック、カラーテレビの普及などによって、村祭りも人々の関心を失い、現在では、祭典のみの祭りとなってしまいました。

一本の桜

この桜の木も切られる事無く、時には雷様に会い、風雨雪にも耐え抜いてきました。元気に伸びる枝が途中で切られる事もしばしばありますが、私たち家族を見守りながら、元気に成長しています。今年も何事も無かったかのように「私の桜の花、爛漫よ」と言わんばかりに咲き誇り、私たち家族を楽しませてくれます。今年もきれいに咲きました。遠方の知

人が「今年もきれいに咲いたね」と褒めてくれました。この桜も私と同年齢です。桜さん、ありがとう。

【発行】邑楽町老人クラブ連合会 【編集】あすへひとこと編集委員会
(平成20年6月28日発行「邑楽町の昔ばなし(第九集)あすへひとこと」)



風薫る
(中野地内)



Photo 原田八重子(記録ボランティア)

ひとりごと From editors

▶企画課へ異動してきて、早いもので1年が経ちました。昨年の5月号で「落ち着かない」などと書きましたが、気がつけば「あつという間」と思えるほど充実した1年だったのかなと思います。▶さて、本年度は町制施行50周年の記念すべき年です。4月号でも紹介しましたが、さまざまなイベントがたくさん予定されています。さらには、中央公民館も完成し、オープンするとさらにイベントが盛りだくさんです。▶ということは、皆さんにお会いする機会が今まで以上に多くなるということです。イベントの運営側だったり、出演者だったり、お客さんだったり形はさまざまですが、皆さんの様子を精一杯追いかけますので、広報おうらのカメラを向けられたときは、ぜひいい表情をお願いします(小室)